

# 平成 30 年度 都市デザイン実務講習会のご報告

平成 30 年度「都市デザイン実務講習会」は、下記のとおり 11 月 28 日（水）に東京都千代田区「エッサム神田ホール 2 号館」において開催しました。

平成 30 年度都市景観大賞（都市空間部門）大賞を受賞した「女川駅前レンガみち周辺地区」に都市デザイナーとして携われた小野寺氏、長崎市の景観専門監として 100 以上の事業を監修された高尾氏、岩手県の大槌町における津波復興計画策定に携われた中井氏の 3 名を講師にお招きし、ご講演をいただきました。

約 60 名の参加があり、最後まで熱心に聴講されました。

■日 時：平成 30 年 11 月 28 日（水） 13：15～17：00

■場 所：エッサム神田ホール 2 号館 601

■プログラム：

12：45 開 場・受付開始

13：15 開 会

主催者挨拶



13：20 「女川駅前レンガみち周辺地区 ゼロからのまちづくり

（H30 年度 都市景観大賞 都市空間部門 国土交通大臣賞 受賞）」

小野寺康都市設計事務所 小野寺 康 氏

平成 30 年度都市景観大賞（都市空間部門）で国土交通大臣賞を受賞した女川駅前レンガみち周辺地区は、東日本大震災を受け、復興のスピードを落とさずに質を求め、ゼロからのまちづくりを行いました。行政、市民、都市デザイナー等多くのプレイヤーが協働して実現したまちづくりの取組についてご講演いただきました。



14：30 「長崎市景観専門監 ーインハウス・スーパーバイザーのモデル的取組みー」

長崎市景観専門監 高尾 忠志 氏

長崎市の公共事業全体を景観・デザイン面から監修しつつ市職員を育成する ISV（組織内監修者）として、就任からの5年半で100を超える事業を監修された中から、平和公園爆心地ゾーンエントランス改修事業、稲佐山山頂電波塔ライトアップ、出島表門橋および出島表門橋公園整備事業を事例に挙げ、その取組内容や成果等をご講演いただきました。



15：50 「「身近なパブリック」からの景観デザイン ～思想としての風景へ～」

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 中井 祐 氏

東日本大震災で津波被害を受けた岩手県大槌町の復興計画策定に携わられたご経験を踏まえ、防災や人口減少等の課題に直面するいま、近代都市計画の特質・問題点を提起しながら、風景とはなにかを問い、多様な生き方・価値を共有していくためのインフラとして身近に存在するパブリックを捉えることで、景観デザインがなすべきことについてご講演いただきました。



17：00 終了

講習会終了後、エッサム神田ホール2号館602にて懇親会を（1時間程度）を行いました。